

卒業式に向けて

今週は5日から県立高校入試が行われ、2年生も実力テストがありました。2年生最後のテストも終わり、今はほっとしていると思います。そして、来週13日は3年生が片平中学校を巣立つ卒業証書授与式が行われます。

3日には卒業式予行練習が行われました。寒い中でしたが、礼法や合唱など今まで練習してきた成果をしっかりと出すことができました。特に合唱は一人一人がしっかりと声を出し、3年生にも感謝の気持ちが伝わったと思います。

卒業式では在校生ができるのは礼法と合唱だけです。それ以外はずっと座っています。発声練習なくいきなり声を出すことになるので、自分が思っている以上の大きな声で君が代、そのままの君で、校歌を歌ってください。また、集中して式に臨んで礼のタイミングなども外さないようにしましょう。

卒業式前日には式場を作成します。卒業する3年生のために、精一杯の準備を進めていきましょう。そして、卒業式当日は感謝の気持ちを込め、卒業式を成功させましょう。



高校入試問題を見ておこう

5日に行われた福島県立高校入試の問題が新聞やネット上に掲載されています。令和7年度高校入試が終わったということは、令和8年度入試まで1年を切ったということです。いよいよ自分たちの番がきました。ぜひ、今年の問題を見ておいてほしいと思います。

入試問題を見ると、どのような難易度の問題がどのくらい出題されるのかが知ることができます。問題数は実力テストと同じくらいで、難易度も内容を覚えているかどうかの知識を問う問題からじっくり考えて解かなければならない難問まで揃っています。理科は2年生までの範囲が多く出題されていました。今、解けない問題ができるようになることが「受験勉強をする」ということです。教科書を覚えたり、ワークを解いたりすることだけが受験勉強ではない、ということを理解してこれからの学習に取り組んでください。残り1年です。1年は本当にあつという間に過ぎていきます。

入試問題が掲載されているサイトを載せておきます →



あきらめたらそこで試合終了

今週の道徳で紹介した言葉です。スラムダンクというマンガの一コマで、とても有名なので知っている人も多いと思います。自分の目標を達成するために、努力を続けることの大切さを感じることができる言葉です。

道徳の主人公も、自分の説を確かめるためにその時代はありえないと思われていた場所で石器を探し続け、ついに見つけたということが書いてありました。もう駄目だと思っていたら発見はできなかったと思います。うまくいかないかもしれない、駄目かもしれない、でも最後まで頑張ることができるということが才能であると将棋の羽生善治さんも言っています。

あきらめずに努力を続けることの大切さを、常に頭に入れておきたいものです。